

木造建築新工法性能認証一覧

令和4年7月20日現在

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK1a1	枠組壁工法建築物の耐力要素として扱う 集成材ラーメン工法 新Gフレーム	三井ホーム(株)	工法／ 性能証明	当該工法及び構造計算法は、平成13年国土交通省告示（平成19年改正）第1540号第十第一号に定める構造計算によって、安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成20年 5月12日
<p>特 徴：この工法は、3階建て以下の枠組壁工法建築物の1階又は1～2階吹抜け部において、耐力壁により構成される耐力壁線に代えて、集成材ラーメンフレームを設置することにより、鉛直荷重及び水平荷重を負担させることができるものである。</p>					
<p>所 在 地：東京都 問い合わせ先：03-3346-4649（三井ホーム(株) 広報グループ）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK1a2	ネジを使用した枠組壁工法建築物の耐力壁	三井ホーム(株)	工法／ 性能証明	平成13年国土交通省告示第1540号第二で規定されている枠材（集成材）と面材（構造用合板）を使用し、面材の接合具にネジを用いた枠組壁工法の耐力壁について、試験により得られた構造特性値（基準耐力、構造特性係数、終局耐力及び剛性）及び低減係数が、その壁高さ・壁長さに関する適用範囲内において妥当である。 ・壁高さ：910mm以上、3,050mm以下 ・壁長さ：600mm以上	平成22年 12月24日
<p>特 徴：この耐力壁は、枠組壁工法建築物の枠材と面材を専用のネジで留めつけたもので、従来の耐力壁の2倍以上の耐力があることを評価したものである。</p>					
<p>所 在 地：東京都 問い合わせ先：03-3346-4649（三井ホーム(株) 広報グループ）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK2a1	MK ラーメンシステム	銘建工業(株)	工法／ 性能証明	当該工法及び構造計算法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって、安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成20年 9月10日
<p>特 徴：この工法は、3階建て以下の面材を用いた耐力壁で構成された集成材等建築物において、その一部又は一方向全てを集成材ラーメンフレームとしたものである。</p>					
<p>所 在 地：岡山県 問い合わせ先：0867-42-3660（銘建工業(株) 大断面工場）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK2a2	C L T床板 9 0	銘建工業㈱	工法／ 性能証明	床及び勾配屋根構面の面内せん断試験を基に誘導した厚さ90mmの直交集成板 (CLT) を用いた水平構面の短期許容せん断耐力は、申請書類の適用範囲内において、建築基準法施行令第3章第3節の仕様規定 (令第46条第2項を含む) を満たしたうえで、ルート1又はルート2の構造計算 (水平力に対する許容応力度計算) に用いる数値として妥当である。	平成28年 2月22日
<p>特 徴：この工法は、構造用製材又は構造用集成材を軸組に用いた木造軸組工法建築物 (集成材等建築物を含む) の床又は勾配屋根の水平構面に直交集成板 (CLT) を用いるものである。CLTは厚さ90mm (3層3プライ)、強度等級Mx60以上、樹種はスギで、CLTと横架材及びCLT相互の接合には、四角穴付きタッピンねじSTS6.5・Fを用いる。</p>					
<p>所 在 地：岡山県 問い合わせ先：0867-42-3660 (銘建工業㈱ 大断面工場)</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK2a3	C L T床板 1 5 0	銘建工業㈱	工法／ 性能証明	床構面の面内せん断試験を基に誘導した厚さ150mmの直交集成板 (CLT) を用いた水平構面の短期許容せん断耐力は、申請書類の適用範囲内において建築基準法施行令第3章第3節の仕様規定 (令第46条第2項を含む) を満たしたうえで、ルート1又はルート2の構造計算 (水平力に対する許容応力度計算) に用いる数値として妥当である。	平成28年 2月22日
<p>特 徴：この工法は、構造用製材又は構造用集成材を軸組に用いた木造軸組工法建築物 (集成材等建築物を含む) の床又は小屋水平構面に直交集成板 (CLT) を用いるものである。CLTは厚さ150mm (5層5プライ)、強度等級Mx60以上、樹種はスギで、CLTと横架材及びCLT相互の接合には、イタリア R otho Blaas製のビスを用いる。</p>					
<p>所 在 地：岡山県 問い合わせ先：0867-42-3660 (銘建工業㈱ 大断面工場)</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK2a4	C L T床板 6 0	銘建工業㈱	工法／ 性能証明	床及び屋根構面の面内せん断試験をもとに、「木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (2017 年版)」、公益財団法人日本住宅・木材技術センター発行」の第 3 章の面材張り床水平構面の詳細計算法により誘導した厚さ 60mm の直交集成板 (CLT) を用いた水平構面の単位長さあたりの許容せん断耐力が、申請書類の適用範囲内において、在来軸組工法、集成材等建築物及び CLT パネル工法建築物等の水平構面の許容せん断耐力に用いる数値として妥当である。	令和4年 7月20日
<p>特 徴：本工法は、構造用製材又は構造用集成材を軸組に用いた木造軸組工法建築物 (集成材等建築物を含む) の床又は勾配屋根の水平構面に直交集成板 (CLT) を用いる工法である。CLTは厚さ60mm (3層3プライ)、強度等級Mx60以上、樹種はスギ同等以上で、CLTと横架材及びCLT相互の接合には、四角穴付きタッピンねじSTS6.5・Fまたは太め鉄丸釘 (CN90) を用いる。</p>					
<p>所 在 地：岡山県 問い合わせ先：0867-44-4880 (銘建工業㈱ 木質構造事業部)</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK3a1	木造軸組工法建築物の耐力要素として扱う集成材ラーメン工法「パワーストラクチャー」	ナイス(株)	工法/ 性能証明	木造軸組工法建築物の1階部分及び1、2階部分に水平力抵抗要素として用いる門型ラーメンの構造耐力性能の評価方法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成21年 7月1日 変更： 平成30年 4月1日
特 徴：この工法は、3階建てまでの木造軸組工法建築物において、1層又は2層の集成材の門型ラーメンフレーム「パワーストラクチャー」と耐力壁とを併用して水平力に抵抗させる工法です。					
所 在 地：神奈川県 問い合わせ先：045-503-6433（木と住まい構造設計(株)）					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK4a1	モッケンフレーム工法	木建技研(株)	工法/ 性能証明	接合部にモッケン金物を使用した1層の木質ラーメンの構造耐力性能の評価方法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算に準じて安全であることが確かめられるものとして、妥当である。	平成23年 1月15日
特 徴：この工法は、1層門型ラーメンフレームの構造耐力評価方法と構造計算方法の妥当性を示し、建築物全体の構造計算の際に他の耐力壁と合わせて評価できることとしたものである。					
所 在 地：大阪府 問い合わせ先：072-752-0436					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK5a1	「ラグスクリューボルト接合設計マニュアル(Ver. 1.0)」 -ラグスクリューボルト接合 (MK仕様、HT仕様、GW仕様)、ラグスクリューボルト接合部 (MK-MR接合システム、HT-YGF接合システム) -	ラグスクリューボルト研究会	工法/ 性能証明	「ラグスクリューボルト接合設計マニュアル(Ver. 1.0)」のMK仕様、HT仕様及びGW仕様のラグスクリューボルトの軸方向の耐力・剛性の評価方法は、妥当である。また、集成材等建築物にラーメンフレームを用いたMK-MR接合システムの柱梁及び柱脚のモーメント抵抗接合部の設計法並びにHT-YGF接合システムの柱脚のモーメント抵抗接合部の設計法は、妥当である。	平成23年 11月25日
特 徴：この工法は、ラグスクリューボルトを用いたラーメンフレーム接合部の耐力・剛性の設計法を評価したものである。					
所 在 地：京都府宇治市 問い合わせ先：0867-42-3660 ラグスクリューボルト研究会 事務局（銘建工業(株) 大断面事業部内）					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK5a2	「ラグスクリューボルト接合設計マニュアル(Ver. 2.0)」 -ラグスクリューボルト接合 (MK仕様、HT仕様、GW仕様)、ラグスクリューボルト接合部 (MK-MR接合システム、HT-YGF接合システム、YSロック接合システム) -	ラグスクリューボルト研究会	工法/ 性能証明	「ラグスクリューボルト接合設計マニュアル(Ver. 1.0)」(認証番号NSK5a1)に追加されたラグスクリューボルト接合 (GW仕様) 及びYSロック接合システムの接合部設計法は、集成材等建築物のラーメン接合部を設計する上で妥当である。	平成27年 10月5日
特 徴：この工法はラグスクリューボルトを用いたラーメンフレーム接合部の耐力・剛性の設計法を評価したもので、平成23年11月25日に認証した「ラグスクリューボルト接合設計マニュアル(Ver. 1.0)」(認証番号NSK5a1)にGW仕様のラグスクリューボルト仕様及びYSロック接合システムによる柱梁及び柱脚のモーメント抵抗接合部仕様が追加されたものである。					
所 在 地：京都府宇治市 問い合わせ先：0867-42-3660 ラグスクリューボルト研究会 事務局 (銘建工業(株) 大断面事業部内)					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK6a1	段差テクノビーム工法	パナソニック 株式会社 ライフソリューションズ	工法/ 性能証明	段差テクノビームの曲げ剛性及び曲げ耐力の低減係数の範囲内であれば、2階以上の床組に配置した段差テクノビームは、段差がないものとして扱うことができる。	平成24年 4月1日 変更： 平成28年 2月15日、 平成31年 4月23日
特 徴：本工法は、テクノストラクチャー工法の2階以上の床組に使用し、段差のあるテクノビームをバルコニー部分に用いることによって、バルコニー床面と室内床面をフラットにすることが可能となる。					
所 在 地：大阪府門真市 問い合わせ先：06-6906-7270 パナソニックアーキスケルトンデザイン(株)					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK6a2	幅狭耐力壁	パナソニック 株式会社 ライフソリューションズ	工法/ 性能証明	柱を切り欠いた部分に面材 (構造用合板) を真壁仕様で納め、面材の接合具にネジを用いた幅狭耐力壁 (1階用：幅300mm・450mm、2階以上用：幅450mm) の短期許容せん断耐力及び剛性が、申請書類の適用範囲内において妥当であり、これら数値をルート1又はルート2の構造計算で用いることが可能である。	平成27年 11月25日 変更： 令和元年 5月30日
特 徴：本工法は、テクノストラクチャー工法において使用する柱を切り欠いた部分に構造用合板 (厚さ9mm) を真壁仕様で納めた耐力壁で、構造用合板の上下と横架材の間に隙間を設けたものである。1階用と2階以上用があり、幅 (柱芯々間距離) は1階用が300mmと450mmの2種類、2階以上用は450mmの1種類である。					
所 在 地：大阪府門真市 問い合わせ先：06-6906-7270 パナソニックアーキスケルトンデザイン(株)					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK6a3	ブレース耐力壁	パナソニック 株エコソリュ ーションズ社	工法/ 性能証明	木造軸組工法建築物において用いる、2本のブレースを鉛直構面の上下にネジ及びボルトを用いて横架材と柱に対して固定することで構成される耐力壁について、試験により得られた短期許容せん断耐力及び剛性が妥当であり、その試験結果を基に得られる適用範囲内での短期許容せん断耐力及び剛性の算出方法が妥当である。さらに、適用範囲内において、柱高さをパラメータとする解析モデルによってその挙動が再現され、各組み合わせにおいて柱に付与される曲げモーメントの推定値及びその数値を検定に供する手法が妥当である。	平成29年 3月31日 変更： 平成29年 10月18日
<p>特 徴：本工法は、テクノストラクチャー工法において使用する、2本のブレースを鉛直構面の上下にネジ及びボルトを用いて横架材と柱に対して固定することで構成される耐力壁である。配置階と横架材間内法距離に応じて、4種類の仕様（品番）がある。</p>					
<p>所 在 地：大阪府門真市 問い合わせ先：06-6906-2269 パナソニックESテクノストラクチャー(株)</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK6a4	テクノストラクチャー工法におけるテクノビーム断熱強化仕様	パナソニックハウジングシステムズ株式会社	工法/ 性能証明	テクノストラクチャー工法と在来工法による胴差部ならびに桁梁部の断熱性能が同等であることを示し、テクノストラクチャー工法の外壁熱貫流率計算において、在来工法と同じ方法で計算することは妥当であり、防露性能についても問題ない。	令和4年 月 日
<p>特 徴：テクノストラクチャー工法の胴差部ならびに桁梁部に配置される、軽量H形鋼の上下フランジに45mm×105mmの木材(以下上端材または下端材)を取り付けた、木と鉄の複合梁(以下テクノビーム)の側面に、各種断熱材を施工して認証事項を実現するものである。</p>					
<p>所 在 地：大阪府門真市 問い合わせ先：06-6906-7270</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK7a1	HSフレームシステム門型ラーメン構法	(株)グランドワークス	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして、妥当である。	平成24年 6月1日
<p>特 徴：この工法は、1層～3層までのHSラーメンフレームの構造耐力評価方法と構造計算方法の妥当性を示し、建築物全体の構造計算の際に他の耐力壁と合わせて評価できることとしたものである。</p>					
<p>所 在 地：富山県滑川市 問い合わせ先：076-471-2021</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK7a2	HSフレームシステム木構造	(株)グランドワークス	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成27年 5月20日
<p>特 徴：この工法は、1～3層のHSラーメンフレームをHSS金物、HSZ金物等を使用した基本構法と併用し、耐力壁とラーメンフレーム又はラーメンフレームのみで水平力に抵抗するものである。HSラーメンフレームは、柱・はりに構造用集成材を使用し、接合部にはラグスクリーボルトと変形能力の高いボルト（SNR材）を使用している。</p>					
<p>所 在 地：富山県滑川市 問い合わせ先：076-471-2021</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK7a3	ストローグ	㈱ストローグ	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成29年 7月20日
<p>特 徴：この工法は、既認証の「HSフレームシステム木構造」に、勾配付きのラーメンフレームの使用を可能としたもので、「HSフレームシステム木構造」と同様、ラーメンフレームは、柱・はりに構造用集成材を使用し、接合部にはラグスクリューボルトと変形能力の高いボルト（SNR材）を使用している。</p>					
<p>所 在 地：富山県滑川市 問い合わせ先：076-471-2021</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK8a1	DR フレーム工法	㈱オノツカ ㈱木質環境建築	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして、妥当である。	平成25年 11月1日
<p>特 徴：この工法は、柱、梁を2材合わせの部材を用い、接合部を鋼板ビス留めラーメン接合としたラーメンフレームを用いたもので、耐力壁とDRフレーム又はDRフレームのみで地震・風等の水平力に抵抗するものである。</p>					
<p>所 在 地：福島県郡山市（㈱オノツカ） 千葉県美浜区（㈱木質環境建築） 問い合わせ先：024-945-1393（㈱オノツカ）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK9a1	Smart Skeleton G A T E	㈱L I X I L	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして、妥当である。	平成26年 3月1日
<p>特 徴：この工法は、3階建て以下の木造軸組工法建築物の水平力抵抗要素として用いる1～3層の引きボルト式ラーメンフレーム構造である。</p>					
<p>所 在 地：東京都江東区 問い合わせ先：03-3638-8156</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK10a1	M-WEシステム スギを利用した宮崎 式工法一	ウッドエナジ ー協同組合	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算方法は、申請書類の適用範囲内において建築基準法と照らし合わせた結果、構造体の性能に対する検討が、安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成26年 12月24日
<p>特 徴：この工法は、平屋建ての木造倉庫で、柱及び梁にスギ集成材を用い、接合部を鋼板ビス留め接合としたトラスフレーム及び木ブレースを用いた工法である。Aタイプ及びBタイプの2種類のプランがあり、Aタイプは、梁間12m、桁行24mを基本プランとした架構、Bタイプは、梁間9m、桁行18mを基本プランとした架構である。</p>					
<p>所 在 地：宮崎県日南市 問い合わせ先：0987-68-1038</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK10a2	M-WEシステムⅡ スギを利用した宮 崎式工法ー	ウッドエナジ ー協同組合	工法/ 性能証明	「M-WEシステム」(認証番号NSK10a1)に追加され たAⅡタイプの工法及び構造計算法(基礎の設計及 び屋根葺き材・外装材、2次部材(垂木・間柱)の 設計は除く)は、建築基準法と照らし合わせた結 果、構造体の性能に対する検討が、安全であるこ とが確かめられるものとして妥当である。	平成28年 3月10日
特 徴：この工法は、既認証の「M-WEシステム」(認証番号NSK10a1)にAⅡタイプを追加したもので、「M -WEシステム」と同様、柱及び梁にスギ集成材(スギ・ヒノキ異種複合集成材を含む)を用い、 接合部を鋼板ビス留め接合等としたトラスフレーム及び木ブレースを用いた木造倉庫である。A Ⅱタイプは「M-WEシステム」のAタイプの外力の適用範囲を広げたもので、梁間12m、桁行24mを基 本プランとした架構となっている。					
所 在 地：宮崎県日南市 問い合わせ先：0987-68-1038					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK11a1	徳島スギとMDFを 用いた充腹梁工法	中千木材(有)	工法/ 性能証明	木造住宅の床梁及び小屋梁に使用する当該工法は 、建築基準法等と照らし合わせた結果、鉛直荷重 による充腹梁の曲げ、たわみ及びせん断に対する 検討が、申請書類の適用範囲内において、安全で あることが確かめられるものとして妥当である。	平成27年 3月25日
特 徴：この工法は、スギ製材の弦材及び束材に構造用MDFをタッピンねじで留め付けた充腹梁を、木造住 宅の床梁・小屋梁に使用する工法である。充腹梁の幅は120mm、成は450mmで、スパン4P以上6P以 下(ただし1Pは910mm以上950mm以下)の範囲で用いることができる。					
所 在 地：徳島県阿南市 問い合わせ先：0884-44-2025					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK11a2	徳島スギとMDFを 用いた水平構面	中千木材(有)	工法/ 性能証明	木造建築物の床・屋根に使用する徳島スギ板とMD Fを用いた水平構面の床倍率が、平成13年国土交通 省告示第1347号「評価方法基準」第5の階数が2以 下の木造の建築物における基準に従った計算をす るうえで妥当であり、短期許容せん断耐力が、水 平力に対する許容応力度計算をするうえで妥当で ある。	平成28年 10月20日
特 徴：この工法は、木造軸組工法の床組又は小屋組に、厚さ30mmのスギ板を打ち付け、その上にMDFを張 って水平構面を構成する工法である。主として板倉工法での利用が想定されている。					
所 在 地：徳島県阿南市 問い合わせ先：0884-44-2025					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK12a1	SSW14工法	株MoN0plan	工法／ 性能証明	4階建ての枠組壁工法建築物の1階の全部又は一部に、厚さ24mmの構造用合板を釘打ち（壁材の外周部分は2-CN75@50、その他の部分はCN75@100）した耐力壁を用いるSSW14工法の工法及び構造計算法は、平成13年国土交通省告示第1540号第9に定める構造計算によって、安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成28年 11月16日
特 徴：この工法は、4階建ての枠組壁工法建築物の1階に、厚さ24mmの構造用合板を釘打ち（壁材の外周部分は2-CN75@50、その他の部分はCN75@100）した高耐力の耐力壁を用いる工法で、保有水平耐力計算により安全確認が行われるものである。					
所 在 地：東京都千代田区 問い合わせ先：03-6206-8141					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK13a1	GUTT-FRAME工法	カスタムハウジング(株)	工法／ 性能証明	木造軸組工法建築物の1階部分に水平力抵抗要素として用いる1層門型ラーメンフレーム（GUTT-FRAME）の短期許容せん断耐力及び剛性は、建築基準法施行令第46条第2項第一号により行う構造計算に用いる数値として妥当である。	平成29年 1月30日 変更： 平成29年 6月6日
特 徴：この工法は、地上3階建て以下の木造軸組工法建築物の1階にラーメンフレームを用いる工法である。（公財）日本住宅・木材技術センター発行「木造ラーメンの評価方法・構造設計の手引き（2016年版）」における「耐力壁置換法」に準拠してラーメンフレームの評価及び構造計算が行われる。					
所 在 地：大阪府大阪市 問い合わせ先：06-6309-1131					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK14a1	間仕切り合板耐力壁	H. R. D. SINGAP ORE PTE LTD	工法／ 性能証明	柱、横架材及び床材を介して下部横架材に留めつけた受材に、構造用合板をくぎで接合した真壁床勝ち仕様の間仕切り合板耐力壁の短期許容せん断耐力は、適用範囲内において妥当である。	令和元年 7月25日
特 徴：この工法は、木造軸組工法建築物に用いる耐力壁であって、柱、上部横架材及び床材を介して下部横架材に受材をねじで留め付け、外周部にめっき鋼板を取り付けた構造用合板をくぎで受材に接合する真壁床勝ち仕様の耐力壁です。					
所 在 地：フィリピン共和国カビテ州 問い合わせ先：+63(2)857-8280					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK15a1	TEシステム	(株)オノツカ ジャパン建材(株) 秋田グルーラム(株) 物林(株) (株)木質環境建築	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算法は、平成28年国土交通省告示第611号及び建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして妥当である。	令和元年 8月21日
<p>特 徴：この工法は、CLT壁パネル上に床梁又は屋根梁を配置したCLTパネル工法で、CLT壁パネルのみ又はCLT壁パネルとラーメンフレーム等の他の耐力壁を併用するものです。屋根・床には、軸組工法の小屋組・床組、CLT床パネル又はCLTパネルとはりをラグスクリューで接合したリブ付きCLTパネルを用います。</p>					
<p>所 在 地：福島県郡山市（(株)オノツカ） 東京都江東区（ジャパン建材(株)、物林(株)） 秋田県大館市（秋田グルーラム(株)） 千葉県千葉市（(株)木質環境建築） 問い合わせ先：024-945-1393（(株)オノツカ）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK16a1	SSW14工法耐力壁 (杵組壁)	(株)MoNOplan 三菱地所(株)	工法/ 性能証明	建築物の杵組壁工法の部分に、厚さ24mmの構造用合板を釘打ち（壁材の外周部分は2-CN75@50、その他の部分はCN75@100）した耐力壁の短期許容せん断耐力、弾性水平剛性、降伏耐力、終局耐力、塑性変形角及び終局変形角の各特性値が、適用範囲内において、平成13年国土交通省告示第1540号第9又は第10に定める構造計算に用いる数値として妥当である。	令和2年 2月14日
<p>特 徴：この工法は、杵組壁工法建築物に用いる高耐力の耐力壁で、厚さ24mmの構造用合板を片面又は両面から釘打ち（各面材の外周部分は2-CN75@50、その他の部分はCN75@100）するものです。許容応力度計算又は保有水平耐力計算により安全確認が行われます。</p>					
<p>所 在 地：東京都千代田区（(株)MoNOplan、三菱地所(株)） 問い合わせ先：03-6206-8141（(株)MoNOplan）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK17a1	バットジョイントを有するNLT（ネイル・ラミネイト・ティンバー）による鉛直荷重を支える床版および屋根版	一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会、カナダ林産業審議会	工法/ 性能証明	杵組壁工法建築物において、当該工法および床版および屋根版の鉛直荷重に対する構造計算法が、平成13年国土交通省告示1540号および第1541号に定める仕様規定および構造計算によって、安全であることが確かめられるものとして妥当である。	令和2年 7月31日
<p>特 徴：NLTは、杵組壁工法構造用製材および杵組壁工法構造用たて継ぎ材（以下、ランバーと言う）を縦使いした側面からくぎ等により順次重ねて留め付け、1体の床版または屋根版とする工法である。当該工法はそれらランバーの縦継ぎ部分にバットジョイントを有しているものも含む工法である。</p>					
<p>所 在 地：東京都港区（一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会、カナダ林産業審議会） 問い合わせ先：03-5157-0835（一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK18a1	鋼製デバイスを有する木造軸組工法用狭小耐力壁	株式会社タカミヤ	工法／性能証明	当該耐力壁について、試験により得られた剛性及び短期許容せん断耐力の値が、その壁長さと壁高さに関する適用範囲内において、「昭和62年国土交通省告示第1899号」の「建築物又は建築物の構造部分が構造耐力上安全であることを確かめるための構造計算」に用いる数値として妥当である。	令和2年 10月26日
特 徴：木造軸組工法の455mm幅の柱間（内法寸法間350mm）上下2か所に、鋼製デバイスを設けた狭小の耐力壁で、耐力壁に水平荷重が作用した場合に、鋼製デバイスが柱と並行にせん断変形することで水平荷重に抵抗する機構を持つ耐力壁。					
所 在 地：大阪府大阪市北区（株式会社タカミヤ） 問い合わせ先：03-3276-3922（株式会社タカミヤ東京支店）					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK19a1	改良型 Midply Wall System	カナダ林産業審議会	工法／性能証明	平成13年国土交通省告示第1540号第十第一号又は第二号を採用した枠組壁工法建築物において、改良型 Midply Wall Systemによる耐力壁の面内せん断試験結果により得られた構造特性値（短期基準せん断耐力、降伏耐力、剛性、終局耐力）に低減係数を乗じた値が妥当であり、これらの数値を平成13年国土交通省告示第1540号第十第一号又は第二号の構造計算に用いることが可能である。	令和4年 4月8日
特 徴：改良型 Midply Wall Systemは、2018 年枠組壁工法建築物構造計算指針（一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会編）第Ⅲ編 建物形態別構造計算指針 第 4 章 中層枠組壁工法建築物の構造設計上のポイント 4.4.3 Midply Wall System（ミッドブライウォールシステム）で示される耐力壁を改良したものである。					
所 在 地：東京都港区 問い合わせ先：03-5401-0531					